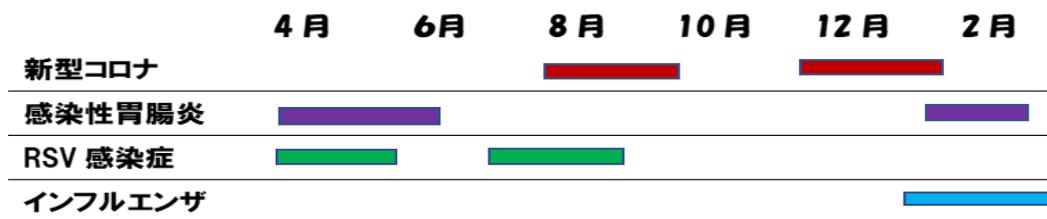




令和4年度の感染症カレンダー

愛媛県の新型コロナの新規感染者数は1月5日の5000人越えをピークに減少に転じ、3月末現在では100人をきるレベルまで少なくなりました。終息が近いのでしょうか？一方で、インフルエンザは今も流行が続いています。1医療機関当たりの報告数は現在も10人を超えており、まだまだ注意が必要な状況です。

当院の昨年度の感染症の流行状況をもとに、令和4年度の主な感染症のカレンダーを作成してみました。ヒトメタニューモウイルス感染症と手足口病も小規模な流行がありました。今回は省略しています。カレンダーにしてみると、新型コロナと感染性胃腸炎、インフルエンザの流行は重ならない傾向がありました。RSV感染症は、年齢が感染歴がない3歳以下の乳幼児に限られ、感染を防ぐことが難しい病気のため、これからも毎年定期的に保育所で流行していくものと考えられます。



令和4年度キッズケア青い鳥の利用状況 (2022年4月～2023年3月)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	20	18	22	13	22	20	20	19	21	19	19	22	235
利用人数	68	40	70	41	71	38	110	86	98	54	94	101	871
キャンセル数	66	24	40	34	45	20	74	63	73	42	57	66	604
満室お断り	5	1	0	6	11	3	8	9	22	9	17	14	105



令和4年度を振り返って

7月のコロナ第7波では職員もコロナに感染し、病児保育室を閉鎖せざるを得ないこともありました。コロナと同じ呼吸器感染症のRSV、ヒトメタ、インフルエンザなどが同時発生していたため、お部屋割りには神経を使いながらの運営が続きました。

入室にあたっては周辺施設での感染症の発生動向が重要です。今後とも感染症の発生動向の情報提供にご協力をお願いします。

3月の感染症情報

3月はA型インフルエンザが流行しました。市内の発生動向をみると、ほとんどが15歳以下の小児です。発生数は徐々に少なくなっていますが、3月末時点でも1医療機関当たり10人前後の発生があります。コロナは少なくなりました。当院での3月のコロナ患者数は4人でした。



3月の利用状況

3月の利用延べ人数は101名で、1日平均利用人数は4.6人でした。年齢別では1歳児が34人で最も多く、次いで2歳児の25人でした。疾患別では急性上気道炎が48人で全体の約半数を占めており、次いでヒトメタニューモ19人、A型インフルエンザ18人の順でした。3月はRSV感染症が一段落し、一過性の発熱と鼻水がでる普通感冒のお子さんの入室が目立ちました。春先や秋口の季節の変わり目には、毎年このようなお子さんが増えます。原因ウイルスはライノウイルスだと思います。今年の新学期からは保育所、幼稚園では全学年マスク着用は推奨しないことになりました。